

技術審査証明6

技術名称 「ローピングウォール工法」

(法面保護タイプおよび擁壁タイプ：長繊維混入補強土一体緑化工法)

審査証明取得日：平成15年9月22日 審査証明取得会社：ライト工業株式会社

技術の詳細に関するURL <http://www.raito.co.jp/>

技術の特徴・概要

本工法は砂とセメントの混合物に、長繊維をエアの圧力で強制的に吹付け、ノズル先端にて混入させ、斜面・のり面を吹付造成した補強土構造物とその補強土表面を植生基材吹付工などで緑化する長繊維混入補強土一体緑化工法です。従来のコンクリート構造物とは異なる土構造物であり、

疑似粘着力と補強効果を有し、かつ全面緑化が可能です。

本工法の対象地は表層の浅い崩壊や落石の恐れがある斜面・のり面で、緑化工が必要な箇所に適しています

現地での施工状態や技術が活用されている図・写真・コメント等



施工前



施工後

河川護岸の急傾斜地において切土補強土を併用し、既存木を残したのり面保護工の施工事例

実際に技術を適用して困った点、今後の改良課題について

地山からの湧水が多い場合は、標準の排水材(モノドレーン)以外に排水処理を検討することが必要です。本工法は土構造物であり、設計時に排水

計画と補強土の安定検討が必要となります。今後は長繊維補強土の物性と機能についてさらに検証が必要と考えています。

技術のアピールポイント、得意とする現場条件や施工法と比較して有利な点など

対象地は道路やダム関連、急傾斜地などの斜面・のり面から既設コンクリート吹付面や既設擁壁面などの特殊のり面まで対応可能です。

また、コンクリート構造物に比べて景観面に優

れ、周辺環境との調和を図ることが可能です。

本工法は砂防分野における「緑の斜面づくり」を積極的に推進する工法であります。